



日高市

ぎ

か

い

HIDAKA
CITY
COUNCIL
NEWS

だ

よ

り

日高市議会だより128号（令和7年8月1日発行）



市内すべての学校体育館に空調を整備

議案番号	議員名 議案等の名称	審議結果	アップ デート 日高	公明党		志正会		大志の会		大地の会		みらい		虹の会	日本共産党	実	みなの会	賛成	反対	委員会 付託	
			山田 一繁	横尾 貴文	鈴木 健夫	三木 伸也	森崎 成喜	小谷 野五成	和田 貴弘	金子 博	新井 均	加藤 大輔	大澤 博行	加藤 将伍	近藤 沙織	佐藤 真	成田 奈緒子			城所 美奈子	総務福祉常任委員会
第37号	令和7年度日高市一般会計補正予算 (第2号) →トピックス①	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇	◇
第38号	日高市税条例の一部を改正する条例 →トピックス②	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇	
第39号	工事請負契約の締結について →トピックス③	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇	
第40号	財産の取得について →トピックス④	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇	
第41号	財産の取得について →トピックス⑤	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇	
第42号	固定資産評価員の選任についての 廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		
第43号	日高市固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		
第44号	日高市教育委員会委員の任命について →トピックス⑥	同意	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		
第45号	専決処分の承認を求めることについて →トピックス⑦	承認	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	14	1		
第46号	専決処分の承認を求めることについて →トピックス⑧	承認	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		
第47号	専決処分の承認を求めることについて →トピックス⑨	承認	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		
第48号	専決処分の承認を求めることについて →トピックス⑩	承認	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		
第49号	令和7年度日高市一般会計補正予算 (第3号) →トピックス⑪	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		
第50号	特別職の職員で非常勤のものの報酬 及び費用弁償に関する条例の一部を 改正する条例 →トピックス⑫	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		

会期日程

5月28日㊦ 開会。市長行政報告。会期の決定。
議案12件の提案説明。
6月3日㊦ 議案7件の質疑・討論・採決。議案
5件の質疑・委員会付託。
6月4日㊦ 総務福祉常任委員会
6月5日㊦ 文教経済常任委員会

6月10日㊦ 一般質問
6月11日㊦ 一般質問
6月12日㊦ 一般質問 議案2件の提案説明
6月17日㊦ 議案5件の委員長報告・質疑・討
論・採決。議案2件の質疑・討論・
採決。市長行政報告。閉会。

トピックス①

議案第37号

令和7年度日高市一般会計補正予算(第2号)

全員賛成

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2,735万4,000円追加し、補正後の総額を218億6,885万円とするもの。

歳入：国庫補助金について、「障がい者総合支援事業費補助金」、「生活保護適正化等事業費補助金」、「防災・安全社会資本整備交付金」を増額。県補助金について、「地籍調査費補助金」を減額。基金繰入金について、「財政調整基金繰入金」を増額。市債について、幹線道路等舗装補修事業を増額するもの。

歳出：民生費について、障がい福祉サービス等に係る報酬請求コードの修正及び生活扶助基準の見直し等に伴い、システム改修委託料を増額。土木費について、国が直接測量を実施することになったため地籍調査委託料等を減額、国庫補助金内示額の増額に伴い市道幹線58号の舗装修繕工事費を増額、令和6年台風10号により被災した下小畔川の護岸整備に係る測量設計委託料を増額するもの。

トピックス②

議案第38号

日高市税条例の一部を改正する条例

全員賛成

公示送達の方法を示した省令改正に伴う規定の整備、個人市民税について、特定親族特別控除の創設及び寄附金税額控除の規定の整備、市たばこ税について、加熱式たばこに係る課税標準の特例に伴う規定の整備などの所要の改正を行うもの。

トピックス③

議案第39号

工事請負契約の締結について

全員賛成

武蔵台公民館改修工事について、工事請負契約を締結するもの。

工 事 内 容：経年により劣化した内外装の改修、トイレの全面改修、照明設備のLED化等公民館活動環境の向上と施設の長寿命化を図るもの。

契約の相手方：飯能市仲町14番5号
株式会社矢島工務店

契 約 金 額：2億4,475万円



改修予定の武蔵台公民館

トピックス④

議案第40号 財産の取得について

全員賛成

災害時における避難所への効率的な給水を図るため、加圧装置付給水車を取得するもの。

財産の種類：加圧装置付給水車 1 台

取得金額：2,088万5,442円

取得の相手方：東京都千代田区丸の内二丁目 4 番 1 号
丸の内ビルディング
川崎機工株式会社



現在の給水車 さらに 1 台購入

トピックス⑤

議案第41号 財産の取得について

全員賛成

災害時における避難所の居住環境を改善し、被災者の心身の負担軽減を図るため、ワンタッチパーテーションを取得するもの。

財産の種類：ワンタッチパーテーション（専用屋根付き）500張

取得金額：2,035万円

取得の相手方：さいたま市見沼区卸町二丁目 6 番 15 号
株式会社サイボウ



パーテーションのイメージ

トピックス⑥

議案第44号 日高市教育委員会委員の任命について

全員同意

前任者の任期満了に伴い、後任として谷本^{たにもと}和歌子^{わかし}氏を任命したいというもの。



谷本和歌子 氏

トピックス⑦

議案第45号 専決処分の承認を求めることについて

承認多数

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律が令和 7 年 3 月 31 日に公布され、同年 4 月 1 日から施行されることに伴い、日高市税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、その承認を求めるもの。

主な内容としては、軽自動車税種別割の標準税率の区分の見直しに伴う改正や災害に係る固定資産税の特例の適用を受けようとする者がすべき申告の規定の廃止及び延長等の改正。

トピックス⑧

議案第46号

専決処分の承認を求めることについて

全員承認

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律が令和7年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されることに伴い、日高市都市計画税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、その承認を求めるもの。

法律の改正に伴う項ずれについて、所要の改正を行ったもの。

トピックス⑨

議案第47号

専決処分の承認を求めることについて

全員承認

地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金法施行令の一部を改正する政令が令和7年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されることに伴い、日高市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、その承認を求めるもの。

低所得者の国民健康保険税の軽減措置の対象を拡大するため、国民健康保険税の5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引き上げを行ったもの。

トピックス⑩

議案第48号

専決処分の承認を求めることについて

全員承認

令和6年分の所得税の確定により、令和6年度定額減税補足給付金に不足額が生じる方等を対象に、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して不足額を支給するため、速やかに予算措置を講じる必要があったことから、一般会計の歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億3,149万6,000円を追加し、補正後の総額をそれぞれ218億4,149万6,000円とする令和7年度一般会計補正予算（第1号）を令和7年4月25日に専決処分したので、その承認を求めるもの。

トピックス⑪

議案第49号

令和7年度日高市一般会計補正予算（第3号）

全員賛成

歳入歳出予算の総額に、それぞれ24万7,000円を追加し、補正後の総額を218億6,909万7,000円とするもの。

歳入：参議院議員選挙費委託金を増額するもの。

歳出：総務費として、参議院議員選挙事務における投票管理者等の報酬を増額するもの。

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に準じ、選挙長等の報酬の額を改正するもの。

提出された陳情書

第2回定例会に、次の陳情書が提出されたので、その写しと陳情文書表を全議員に配布しました。

(陳情第3号) 学童保育の充実を求める陳情書



議案
トップページ

行政視察の受け入れ

令和7年5月13日青森市議会議会運営委員会の皆様が、行政視察研修にお越しになりました。

本市議会では、ソーシャルメディアの利用に関し、公の機関として自らの信用を損なわないよう、適切かつ正確な情報発信と運用について定める必要があると考え、他の市議会に先駆け、ガイドラインを平成27年に策定しています。

今回はガイドラインの先進地として、本市議会を視察先として選んでいただき市議会議員がガイドラインの策定に至った経緯や策定後の効果などについて説明を行いました。



豆知識

一般質問とは…

市の一般事務について、議員が定例会において議長の許可を得て行う執行機関(市長、教育委員会、選挙管理委員会、農業委員会等)への質問であり、議案に対するものでなく、議員主導により議長へ事前に通告した要旨に基づいて行うものです。

質問の範囲は、自治事務、法定受託事務を問わず、市が処理する事務の一切であり、一般行政はもちろん、教育、選挙、農地行政等、行財政全般におよびます。なお、一般質問は、定例会のみに認められており、臨時会ではできません。

議会傍聴は健幸ポイント対象事業です

令和7年の9月定例会、12月定例会の議会傍聴は、健幸ポイント対象事業です。健幸ポイント手帳を持参し、議会傍聴へお越しください。

9月定例会については最終ページをご覧ください。



健幸ポイント
事業



きどころ み な こ
城所 美奈子 面積や世帯数に差がある自治会に
一律3件の区長要望は不公平では

件数の基準を見直す考えは

答弁 3件以内での区長要望を見直す予定はない

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 区運営交付金と区長報奨金の支払い状況は。
区長報奨金に定めがないのであれば、区運営
交付金の中から区長報酬として支払うのはどうか。

答 区運営交付金は要綱に基づき、均等割額4万
円+加入世帯数×470円、区長報奨金は、均
等割額9万円+加入世帯数×550円。区長報奨金の
要綱は定めていないが、適正であると考えため、
これまで通りとする。

移住・定住促進について

問 移住定住に向けた将来像は。

答 本市の魅力発信と、来年度以降の施策の見
直しできめ細やかなサービスをしていく。

審議会・協議会への市民参加について

問 傍聴の周知の工夫や、市民が継続して情報
を得る方法は。

答 会議開催の1週間前までに傍聴の呼びかけや、
その他の情報を市ホームページに掲載している。

投票率向上のための取り組みと課題について

問 さいたま市長選挙では「こども選挙」が行
われたが、本市での新たな取り組みは。

答 新たな取り組みは予定していない。



かとう しょうご
加藤 将伍 財政調整基金残高が枯渇し、緊急
財政対策を実施する自治体もある

本市の財政調整基金残高の推移は

答弁 標準財政規模に対して13%を確保見込み

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 今年度当初予算は、学校給食費の無償化や、
地域公共交通対策おでかけタクシー事業な
ど、市民生活に直結した大切な事業が目白押しであ
る。その中で、財政調整基金の残高推移を伺う。

答 当初予算における財政調整基金の取崩額は
約9.6億円で過去2番目に大きな額となった
が、令和7年度末基金残高見込みは15.7億円で財
政規模の13.1%、目安の10%を上回る額を確保。

問 市民サービス向上に資する取り組みを持続可
能にするため「自主財源増収」に向けた方策は。

答 恒常的な財源である税収確保が重要。100件
を超える企業立地で固定資産税が大きく増加。

人口1人あたりの固定資産税額は近隣市でトップ。

問 昨年税率改定した法人市民税。多くの企業立
地に成功する本市に超過課税の効果は大き
い。増収見込みを地方交付税の影響も踏まえて伺う。

答 超過課税分を9,000万円と見込み、子ども医
療費拡充やおでかけタクシー、おでかけワゴ
ンの財源として活用。超過課税分に地方交付税への
影響はなく、増収分をそのまま財源に活用可能。

問 財政硬直化の進行が懸念される。その改善の
カギとなる「経常的な支出抑制」の方策は。

答 健康の取り組みで医療費抑制、ごみの減量化、
今後は、公共施設の総量最適化を進めていく。



こやのいつなり
小谷野 五成

学校給食における食育の機会と
地元農家の販路の確保を！

学校給食における地元食材の活用は

答弁 地元食材の積極的な活用に努めてまいりたい

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 学校給食に地元食材活用を促進することで、子どもたちの食育の機会、地元農家の販路の確保ができると考えるが、見解は。

答 市内の農家等が直接指定事業者に登録されている例は今までないが、納品等のリスクが少なく、独自で販売する力を持つ農業者については、登録も可能である。今後、常時ホームページにて周知していく。

学童保育について

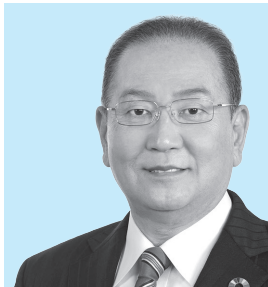
問 こども家庭庁が「夏季休業期間中における放課後児童クラブの開所支援」を拡充したが、夏休みに限定した児童の受け入れの考えは。

答 期間限定であっても、設備及び運営に関する基準に則した場所の選定や、支援員の配置への課題がある。今後、研究をしていきたい。

災害対策について

問 災害時の情報伝達の現状は。

答 防災行政無線の放送に連動してホームページに放送内容が掲載されるほか、ひだか防災メールや市公式LINEを通じて、瞬時に情報が伝達される。また、広報車による対象地域への伝達、多様なメディアを通じて、地域住民に対して情報を伝達する「Lアラート」も活用している。



やまだ かずしげ
山田 一繁

市民ニーズに応え、市長公約の
新しい交通手段が早期実現！

おでかけタクシー現在の状況は

答弁 5月末での利用登録者数は5,420人

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 市長公約である「おでかけタクシー」は、わずか1年で実現。他市の例は複数年要している。開始から2か月経過した利用者からの声は。

答 半額で助かる、買い物に使える、ドアツードアはありがたい、16歳以上から登録できるので嬉しい等、喜びの声がある。広く多くの方に好評。

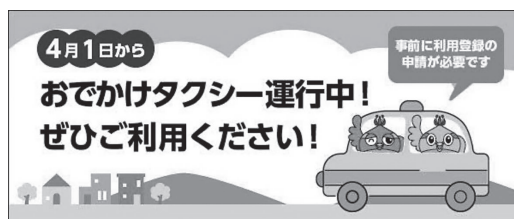
問 市民の移動ニーズに合わせた柔軟な対応は重要なこと。現在の課題とその対応は。

答 当初の乗降ポイントには行きたい場所が含まれていないケースがあり、追加の要望を受け、老人ホームや墓地、接骨院等の乗降ポイントを42か所追加。現在338か所となり、引き続き必要

に応じて随時追加をしていく。

問 導入前、市内タクシーだけで足りるのか、といった懸念も一部あったが、想定と比べて対応できているのか。

答 当初の想定は先進自治体の例から試算し、利用回数を一日当たり最大で150回程度と想定しているので、充分対応できていると考えている。



誰もが安心して暮らせるまちづくりのために



さとう まこと
佐藤 真

人格を高め、他者との良好な関係性を育む教育の展開を！

教育で目指すべき子どもの姿は

答弁 各地区の「目指す15歳像」の具現化である

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 市として、どのような目指すべき子どもの姿を考えているのか。

答 各地区の「目指す15歳像」には、人にやさしく進んで学び、自らの人生を切り開くことができるたくましい人間に育ってほしいという学校、家庭、地域の願いが反映されている。この具現化が、目指すべき子どもの姿であると考えている。

問 教育長は、「目指す15歳像」の具現化にどう取り組むのか。

答 子どもたちがさまざまな体験や学校内外での人との関わりの中で、「本当になりたい自分の姿」を見つけ出し、それが社会貢献につながる

ような「生きがい、やりがい」をもった人生を歩んでほしい。さまざまな方の協力を得ながら尽力する。

問 子どもが集える新たな場として、自治会館や公民館など既存施設の活用はできないか。

答 有効な手段の一つと認識するが、可否や手法について自治会などと研究する必要がある。



令和6年度から義務教育学校となった高根小中学校



なりた なおこ
成田 奈緒子

不登校児童生徒・保護者支援に情報交換、気持ちの共有等する場を！

地域ネットワークの強化は

答弁 家族会等と連携し顔の見える関係を構築

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 自殺対策における生きることの促進要因への支援に横断的取り組みがある。不登校児童生徒のタブレットと健康観察アプリLEBER^{リーバー}の活用状況は。

答 オンライン学習、自宅学習システム「eライブラリ」、相談活動に活用。心身の健康観察を武蔵台小中学校で試行。本格活用は今後検討。

おくやみ手続きナビとハンドブックの活用方法

問 遺族支援は市民サービス向上に有効。精神的につらい中、頼もしいガイドとなるがピアサポート・グリーフケアの支援等内容の更新は。

答 2～4月死亡者190人。うちナビ利用は94件。ハンドブックは市の負担無く毎年内容も更新。

相談窓口の情報等遺族に寄り添う内容を検討する。

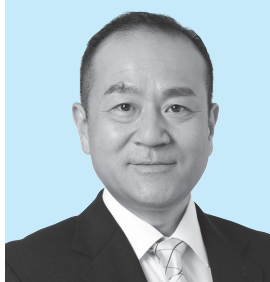
書店との連携による読書文化の振興

問 「鳥取方式」のように地元書店で図書を購入し、装備をボランティアや福祉作業所に協力を仰ぐことで地域のつながり、文化醸成に良いのでは。

答 表紙フィルム貼付や分類番号の整理等専門知識が必要。速やかに正確に貸し出すには困難。準備不要の本の購入は地元で引き続き購入する。



カフェ利用もできる市立図書館のウッドデッキスペース



み き し ん や
三木 伸也

重度心身障がい医療費助成制度の
対象拡大について

精神2級までの対象拡大は

答弁 対象拡大の方向で検討を進めている

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 重度心身障がい者の方で、精神1級の方には、通院医療費の助成があるが、精神2級の方は対象外となっている。埼玉県で精神2級の方は6割を占めているが、この方々が受診を控えると再発や重症化のリスクが高まる。精神2級までの拡大は。

答 県は令和8年1月診療分から助成対象を拡大し、精神2級で自立支援医療が適用される精神科通院費のみ助成対象とした。これを受け、本市でも対象拡大の方向で検討を進めている。

ごみの資源回収について

問 国内資源循環及びCO₂排出を削減するためにペットボトルキャップを資源回収する考えは。

答 本市の可燃ごみはセメントの原料、燃料となっているので別途回収することは考えてない。

市民生活の利便性向上について

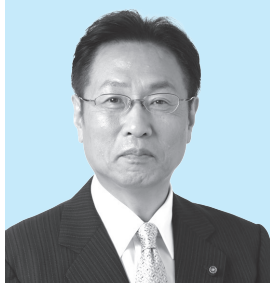
問 宅配ボックスの設置で再配達が削減されCO₂削減などの効果もあるが、設置補助の考えは。

答 まずは受取日時・場所の指定などで、再配達を減らしていただけるよう広報紙等で周知したい。

介護人材の確保について

問 全国の介護職員数は令和5年度に初めて減少。介護人材の確保促進に向けた取り組み状況は。

答 就職説明会の会場提供とその広報、事業者へ県の人材確保事業の情報提供を実施している。



す ず き た け お
鈴木 健夫

旧武蔵台・旧高根中学校跡地
個別活用計画について

売却を優先とした理由は

答弁 売却は将来的な財政負担を軽減できる

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 売却後も防災機能や公益性を確保する仕組みはあるか。

答 公募型プロポーザル方式では、避難所機能確保も評価基準として考えている。評価した内容を協定締結の中に盛り込むことで公益性の確保に努めていく。

問 契約時に公益的用途を義務付ける考えはあるか。

答 地域貢献する事業に優先点をつけ、10年間は提案通りの使い方を義務づける仕組みを検討中である。

ハラスメントについて

問 今、全国的にカスタマーハラスメントの課題が広がる中で、市としてもハラスメントの条例制定に能動的な姿勢を示すべきでは。

答 職員が安心して働ける環境整備は市民サービス向上に重要であり、多様化するハラスメント対策を検討していく。

問 学校におけるカスタマーハラスメントの相談体制と教育委員会の支援体制は。

答 カスタマーハラスメントは教職員に深刻な影響を与えており、相談体制や専門家対応、ストレスチェック等で対策を講じている。



あら い ひとし
新井 均

持続的で安心・安全なごみ処理と
リサイクルのシステムをつくる

ごみ処理の展望と諸課題は

答弁 持続性と安全性が高いごみ処理を行う

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 太平洋セメント株式会社埼玉工場と連携したごみ処理の今後の展望は。

答 日高市と太平洋セメント株式会社埼玉工場間の協定期間は10年間で、5年を経過した時点で次の10年間で協議し締結している。別途、処理不能事態の協定も締結し、万々に備えている。一方、歳出予算で債務負担行為を設定している。

問 リチウム蓄電池がごみに混入した場合の安全対策や、ごみに混入させない回収の整備は。

答 リチウム蓄電池を適正回収するための仕組みを市民に提供するため早急に取り組む。また、引き続き適正なごみ出し方法を市民に周知する。

問 粗大ごみをリペアして再販するリサイクルについての現状と考えは。

答 民間業者と不用品リユース事業に関する協定を締結し、リユースプラットフォーム「おいくら」を通じて加盟店一括査定、買取価格の比較、引き取りを可能にした。今後も効果的施策を研究する。



市内でごみを回収するパッカー車



よ こ お た か ふ み
横尾 貴文

小・中・義務教育学校における社会
保障教育の現状と今後の取り組み

社会保障教育の重要性の考えは

答弁 将来の暮らしに密接で意義深く大切である

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 社会保障は市民それぞれの立場で関わり方が異なる。社会保障制度にアクセスするには利用しようとする方がそのサービスについて知らなくてはならない以上、義務教育における社会保障教育の重要性は大きいと考えるが、市の考えは。

答 国民の安心や生活の安定を支えるセーフティーネットとして、全ての人々の生活を生涯にわたって支える制度であり、子どもたちのこれからの将来の暮らしに深く関わるため義務教育で社会保障制度を学んでいくことは子どもたちにとって、とても意義があり大切である。

問 少子高齢化、地域コミュニティ、家族のスタイルなど社会情勢の変化を踏まえると、一人ひとりが生きる社会の中で社会保障制度の意義、社会のあり方を考えることが重要と考えるが、社会保障教育の現状と今後の取り組みは。

答 学習指導要領に基づき指導を行っており、子どもの発達段階に応じて、生活の中の支え合い・助け合いから始め、社会保障の役割や仕組みを段階的に学んでいる。税の意義も含め、体験的な学びを通じ理解を深め、市としては関係機関とも連携を図りつつ児童生徒の社会保障に関する意識を高めていきたいと考える。

9月定例会は 令和7年 8月27日(水)開会予定

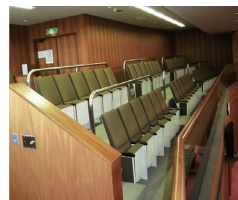
午前10時開会

会期の日程は、公民館、出張所、生涯学習センター等に掲示、市のホームページに掲載します。

会期は、おおむね27日間です。

詳しくは、日高市ホームページへ

議会傍聴へ ぜひお越し ください



定例会の本会議、委員会等
を傍聴できます。

詳しくは、ホームページで
確認いただくか、議会事務局
へお問い合わせください。

↓傍聴ご案内ページ



全国・埼玉縣市議会議長会表彰

地方自治の発展に寄与した功績で、全国市議会議長会並びに埼玉縣市議会議長会から、永年勤続議員として表彰され、本会議の中で議長より伝達されました。



森崎成喜議員 在職20年以上



佐藤真議員 在職10年以上

日高市議会では、本会議の映像を録画配信しています！

傍聴に来られない人でも、本会議の映像を市ホームページ（市議会）からご覧いただけます。

www.city.hidaka.lg.jp



←日高市
ホームページ



←日高市議会
トップページ



←議会中継(録画)
トップページ

発行：日高市議会 ☎ 042-989-2111（代表）／編集：議会だより編集委員会／年4回発行（2月・5月・8月・12月）

日高市議会だより第128号は1万9,500部作成し、一部当たりの印刷単価は約21.8円です。読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。